

(別記様式)

令和8年度 府立南山城支援学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン)(計画段階 ・ 実施段階)

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>1 安心で安全な教育環境を整え、組織的、計画的で効果的な学校経営を推進する。</p> <p>2 いのち、健康及び人権の尊重を基本に、児童生徒一人一人の障害や教育的ニーズ等に応じた指導を充実する。</p> <p>3 卒業後の自立と社会参加を目指して、児童生徒がそれぞれのライフステージでのキャリアを積めるよう、主体的に学び合う、質の高い授業づくりや教育活動を推進する。</p> <p>4 医療、保健、福祉、労働及び教育の関係諸機関と連携し、児童生徒(保護者)の願いを基に、生涯にわたる一貫した支援を推進する。</p> <p>5 センターの機能を発揮し、支援ネットワークの構築を通して、地域における特別支援教育の充実を図る。</p> <p>6 地域に開かれ、地域と共にある特色ある学校づくりを進め、インクルーシブ教育を推進し、「共生社会の形成」に貢献する学校とする。</p>	<p>【組織・運営】</p> <ul style="list-style-type: none">・ヒヤリ・ハット、アクシデントに対するそもそもの意識の持ち方に大きな課題を残した。今後保健部を中心に対応・対策の検討を進める。・防災・安全プロジェクトチームの企画に基づき、避難訓練、防災給食時に児童生徒が率先して行動できるなど、日頃から取組を継続できた。・SC及びSSWと児童生徒、保護者、教職員を適切に結び付け、課題解決に向けた連携、助言を踏まえた指導を実施できた。・衛生委員会と連携を密にすることで、メンタルヘルスを意識した取組や活動を推進することができた。・働き方改革では、管理職指導というよりも、各学部各グループで業務を調整し、時間外勤務時間の削減に努めることができた。・地域連携では、ほんの森や新規リソースの活用と、新しいつながりを設けた。効果的な活用については、今後検証が必要である。 <p>【教育課程・学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none">・学校教育目標の「学び合い・育ち合い」を育むための指導の在り方については、今年度大きな成果を挙げられなかったため、次年度も引き続き検討を行いたい。・小中連携、中高連携は、教育課程上に活動を計画的に盛り込み、学部間で教員が連携して適切に実施することができた。・自立活動プロジェクトチームの企画を踏まえ、学校全体で流れ図の作成、授業内容の改善について研究を進めることができた。	<p>1 <u>いのち、安心・安全の重視と確保</u></p> <p>(1) 児童生徒が自分の安全を意識し行動できる安全指導を実施する。</p> <p>(2) 日常的な学校安全教育を通して、児童生徒の安全意識の向上を図る。</p> <p>2 <u>授業改善と教育課程の検討</u></p> <p>(1) 学年制の集団編制によるつながりのある教育課程を通して、児童生徒に「あこがれ」や「ほこり」を育む。</p> <p>(2) 多様な関わりを通じた協働的な学びを推進し、児童生徒の「他者への気づき」「まわりの出来事への関心」を高める。</p> <p>(3) 学校教育目標の達成に向けて「支援」に視点を置いた実践研究を進める。</p> <p>(4) 肢体不自由生徒の自発的コミュニケーションに視点を当てた実践研究を進める</p> <p>3 <u>地域に開かれ、地域と共にある、特色ある学校づくり</u></p> <p>(1) 地域資源活用を効果的に行い、児童生徒の変容を促す。また、地域との連携を進め、南山城らしさを創造する。</p> <p>(2) 「ほんの森」の一般開放を通して、地域に根差した学校運営を推進する。</p> <p>4 <u>関係機関との連携による支援</u></p> <p>(1) 保健・福祉等の関係諸機関や保護者と連携し、特別支援学校としての就学支援を推進する。</p> <p>(2) 地域支援センターの機能や運営について、改善・整理を図るとともに、地域の人材育成を進める。</p> <p>5 <u>組織的な学校運営と、働きがいのある職場づくり</u></p> <p>(1) 45周年に向けて、全教職員参加型の自由度のある企画運営を推進する。</p> <p>(2) 衛生委員会と協働し、課題発見と課題解決を行う。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	いのち、安心・安全を重視した学校運営	・ヒヤリ・ハット事象等の共通理解の徹底と対策内容の分析。		
		・医療的ケア安全委員会での協議を踏まえた安全なケアの実施。		
		・日常的な安全教育を通じた児童生徒の安全意識の向上。		
		・災害時と平常時をつなぐ防災・減災教育の実施。		
		・SC、SSWとの連携を通じた課題への早急な対応。		
	働きがいのある職場づくりに向けた取組の推進	・メンタルヘルス事業の活用とストレスをためないライフワークの確立。		
		・45周年記念に向けた全職員参加型の活動企画の実施。		
		・衛生委員会との協働を通じた働きがいのある職場づくり。		
	地域に開かれ、地域と共にある特色ある学校づくり	・学校運営協議会との連携、地域や保護者の声を活かした学校運営。		
		・インスタグラムを活用した積極的広報の実施。		
		・地域資源の効果的な活用についての検証。		
		・「ほんの森」の一般開放を踏まえた地域密着型の取組の企画推進。		
教育課程・学習指導	インクルーシブ教育の推進・共生社会の実現	・インクルーシブ教育指針を踏まえた取組の企画・推進。		
		・交流及び共同学習の在り方の検証。		
		・地域支援センターの活動の整理及びセンター的機能の向上。		
	「学び合い・育ち合い」を育む学習活動の実施	・学校教育目標の達成に向けた「支援」の在り方についての検討。		
		・学年制を基軸とした「あこがれ」や「ほこり」を育む教育活動の展開。		
	「12年間のつながり表」に基づくキャリア教育の推進	・「12年間のつながり表」に基づくキャリア教育の実施。		
		・高等部卒業後を見据えた、系統性のある教育活動の実施。		

学校関係者 評価委員会 による評価	
-------------------------	--

次年度に 向けた改善の 方向性	
-----------------------	--